

■赤ちゃんとおもちゃ

# 手作りおもちゃで遊ぼう

0歳児の赤ちゃんは成長が目覚しく、日々出来ることが変化しています。日々の赤ちゃんの発達や変化をしっかり受け止めることで、その子に合った遊びを広げることができます。赤ちゃんは成長するにつれて、様々なことができるようになります。

赤ちゃんのためのおもちゃ・・・どんなものを与えていいか迷うことはありませんか？今日は簡単にできる手作りおもちゃを紹介したいと思います♪



## 0歳児の赤ちゃんのおもちゃ作りのポイントは!?

ただ動くだけで赤ちゃんは喜びます。おもちゃはシンプルで音がでるものがお勧めです。見る・聞く・触るといった感覚を高めるおもちゃがお勧めですね。口の中に入れても安全か、飲み込んでしまわない素材を選びましょう。

### ★ペットボトルのおもちゃ★（スノードーム）

1～3か月の赤ちゃんにおすすめのおもちゃです。

この時期の赤ちゃんは、ぼんやりとしか見えていなかった目が少しずつ見えるようになり、追視（動くものを目で追えるようになる）ができるようになります。

#### <遊び方>

上下にペットボトルを振ってスノードームのように遊べます。また、ペットボトルを赤ちゃんの顔の左右に動かすことで、赤ちゃんが追視をして楽しめます。



#### <作り方>

お家に余っているペットボトルを用意します。ペットボトルに大き目のカラフルなビー玉や、きらきら光る素材（スパンコール・ラメパウダー・キラキラシール等）と水を入れたら出来上がり!!

重さが違うものを入れると落ちる速度が違うのできれいです

### ★空き缶とフェルト生地で作るおもちゃ★（ガラガラおもちゃ）



缶の中に入れるものを変えると音も変わって面白い!!

4～6か月の赤ちゃんにおすすめのおもちゃです。

この時期の赤ちゃんは、手足もだんだん自分で意識的に動かせるようになります。

「あ～」 「う～」などの喃語（なんご）も増え、周囲に関心も広がってきます。できるだけ声をかけてあげながらコミュニケーションをとることが大切です。

#### <遊び方>

ガラガラのように振って遊びます。赤ちゃんがうつぶせの姿勢か、座った状態で手が届く範囲におもちゃを置いてあげましょう。赤ちゃんは自分でおもちゃを動かそうとします。

#### <作り方>

空き缶、フェルト生地、リボン、お米や大豆（缶の中に入れます）を用意します。空き缶の中にお米や大豆等を入れたら、入り口をテープで留め蓋をします。その空き缶をフェルト生地で包み、両足をリボンで縛ったら出来上がり!! ※赤ちゃんは顔模様の物が大好き!!顔を付けたりひと工夫で、もっと素敵なおもちゃに変身です!!



### ★お菓子の箱とハンカチで作るおもちゃ★（ティッシュ引き遊び）

7、8か月以降の赤ちゃんにおすすめのおもちゃです。

この時期の赤ちゃんは、お座りが安定して、おもちゃをひっぱったり、指を使って、小さなものがつまめるようになります。誤飲の心配のないおもちゃ遊びを心掛けましょう。

#### <遊び方>

ティッシュをつまんで引っ張る遊びができるおもちゃです。座っている赤ちゃんの前におもちゃを置きます。はじめは目の前で、ひっぱってあげ一緒に遊びましょう。そのうち赤ちゃん自身で引っ張るようになります。



#### <作り方>



途中に、小さなぬいぐるみなども付けて、出てくるものに変化を付けると赤ちゃんも楽しい!!

大きめのお菓子の箱などを用意します。蓋の真ん中をくりぬき出口を作ります。中に入れるスカーフやリボン、ハンカチを縛り、一本にします。それを箱に入れたら出来上がり!!

0歳児の赤ちゃんに大切なのは、もっとも身近な人（親や保育者）との安定した関係を作ることです。おもちゃはコミュニケーションツールの一つです。大事なことは、おもちゃを通して一緒に遊ぶことで、抱っこしたり、肌に触れたり、言葉かけをしたり、子どもにとって心地よい感覚を十分に体験できるようにすることです。乳児期は個人差もあります。それぞれのお子さんに合わせて、遊び方を工夫してみましょう♪

子育てにこにこクラスでは、毎月テーマを決めて話し合いなどを行っています。おもちゃがテーマの月もありますので、ぜひご参加ください。

4F 病棟 平井（子育てにこにこクラス）